

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-144369

(P2012-144369A)

(43) 公開日 平成24年8月2日(2012.8.2)

(51) Int.Cl.
B 6 5 H 35/07 (2006.01)F 1
B 6 5 H 35/07テーマコード (参考)
3 F 0 6 2

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2011-14562 (P2011-14562)
(22) 出願日 平成23年1月6日 (2011.1.6)(71) 出願人 391035164
株式会社カワキタ
大阪府東大阪市荒川2丁目4番6号
(72) 発明者 柳谷 耕一
大阪府東大阪市荒川2丁目4番6号 (株式
会社カワキタ内)
Fターム(参考) 3F062 AB10 BA01 BF01 BG02

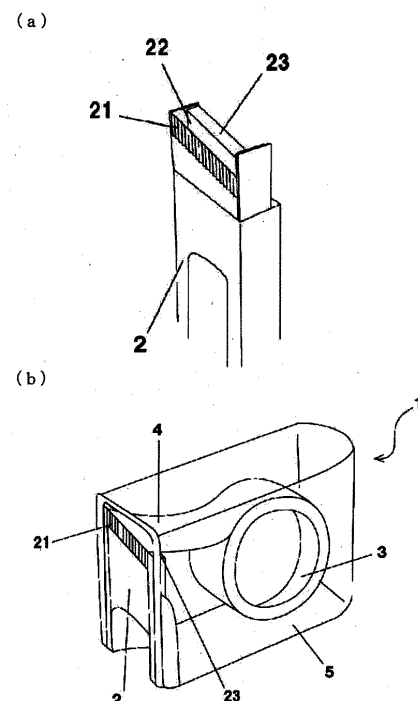
(54) 【発明の名称】 プラスチック製テープカッター

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 幼児がテープを捻らないでも簡単に切断できるプラスチック製テープカッターを提供する。

【解決手段】 テープ巻取り収納部3から引き出しているテープ4に対して切断刃21と、テープ粘着固定部23が溝22を介して斜めに平行に取り付けられていることを特徴とするプラスチック製テープカッター。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テープ収納部 3 から引き出すテープ 4 のテープ面に対して、切断刃 2 1 と、テープ粘着固定部 2 3 が溝 2 2 を介して斜めに平行に取り付けられていることを特徴とするプラスチック製テープカッター。

【請求項 2】

切断刃 2 1 がテープ粘着固定部 2 3 より高く取り付けられたことを特徴とする請求項 1 に記載のプラスチック製テープカッター。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、プラスチックの切断刃を有するプラスチック製テープカッターに関する。

【背景技術】

【0002】

プラスチック製テープカッターは、鉄製のカッターに対して、テープが切れにくかった。従来のプラスチック製テープカッターは、図 6 のように、テープ巻取り収納部から引き出したテープの面と平行に、切断刃とテープ粘着固定部を設けている。

大人がプラスチック製テープカッターでテープを切るとき、テープを巻取り収納部から引き出して、捻って切断刃にあてるためにテープを上手く切ることができた。

しかし、幼児がプラスチック製テープカッターを使用する際、テープ接着面を傾け、テープ端から切ろうとせず、切断刃と平行のまま力任せにテープを刃に押し付け、切断しようとする為、テープが伸びて上手く切ることができなかった。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特願 2 0 0 8 - 2 6 4 6 6 6 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

幼児がテープを捻らないでも簡単に切断できるプラスチック製テープカッターを提供する。

30

【課題を解決するための手段】

【0005】

テープ巻取り収納部 3 から引き出すテープ 4 のテープ面に対して、切断刃 2 1 と、テープ粘着固定部 2 3 が溝 2 2 を介して斜めに平行に取り付けられていることを特徴とするプラスチック製テープカッター。

【0006】

切断刃 2 1 がテープ粘着固定部 2 3 より高く取り付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のプラスチック製テープカッター。

【発明の効果】

40

【0007】

テープを捻らずに、幼児でも簡単に切断できるプラスチック製テープカッターを提供する。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図 1】本考案のプラスチック製テープカッターの構成 (a) カッター部詳細構成 (b) 外観図

【図 2】本発明のプラスチック製テープカッターの切断原理図

【図 3】本発明のプラスチック製テープカッターの粘着固定部とテープの巻厚関係図 (a) 粘着固定部がある場合 (b) 粘着固定部がない場合

50

【図４】本発明のプラスチック製テープカッターの切断刃と粘着固定部との関係図 （a）切断刃が粘着固定部より低い （b）切断刃と粘着固定部が同じ高さ （c）切断刃が粘着固定部より高い

【図５】実験結果 （a）テープ面に対して切断刃が平行 （b）切断刃が山型 （c）本発明の切断刃が引き出すテープ面に対して傾斜している

【図６】従来のプラスチック製テープカッターの構成

【発明を実施するための形態】

【０００９】

以下、本考案のプラスチック製テープカッターの実施例について説明する

図１は、本発明のテープカッターの構成を示す。（a）はカッター部の詳細構成、（b）は外觀図示す。 10

本発明のプラスチック製テープカッター１は、図１の（b）に示すように、テープ巻取り収納部３とカッター部２と、テープ４と、台座ケース５から構成する。

台座ケース５にテープ巻取り収納部３を設け、そのテープ巻取り収納部３にテープ４を設置し、テープ４を引き出して、テープ４をカッター部２に押し下げて切断する。

本発明のプラスチック製テープカッターのカッター部２は、図１の（a）のように、切断刃２１と、テープ粘着固定部２３、溝２２からなり、切断刃２１とテープ粘着固定部２３は溝２２を介して平行にある。また、引き出して切断するテープ４のテープ面に対して斜めに取り付けられている。

切断刃２１はプラスチック又は樹脂製の三角柱の頂上を斜めに切断した、先が尖った突起を連続して配置し、それによりテープが切断される。 20

【００１０】

図２は本発明のテープカッターの原理図である。

プラスチック製テープカッター１の切断刃２１は、連続して配置された突起刃２１１、突起刃２１２…突起刃Nからなる。それに対応してテープ４がテープ粘着固定部２３の支点２３１、支点２３２…支点Mからなる。

切断刃２１とテープ粘着固定部２３を、溝２２を介して平行に、引き出して切断するテープ４のテープ面に対して斜めに取り付けることで、幼児が力任せにテープ４をテープ粘着固定部２３と切断刃２１に下方向に押付けた場合でも、斜めに設けているテープ粘着固定部２３の上方から、まず、テープ粘着固定部２３のテープが接触する支点２３１に、粘着し、次に、それに対応する切断刃の突起刃２１１に当接し、テープが破れ、次にテープ粘着固定部２３のテープが接触する支点２３２に接着し、次に、それに対応する切断刃の突起刃２１２に当接し、テープが破れる。このようにテープ粘着固定部２３が支点となり、切断刃２１でテープ４に順次切り込みが入るので、少ない力で容易にテープを切断できる。このように、テープ粘着固定部２３が支点となり、切断刃２１でテープ４の端に切り込みが入ることで、傾斜をつけているテープ粘着固定部２３の支点が順番に傾斜に沿って下へ移動していきながら、テープ４を容易に切断することができる。 30

【００１１】

図３は、本発明のプラスチック製テープカッター１のテープ巻取り収納部３テープが巻いている厚みとテープ粘着固定部２３との関係図を示す。（a）は粘着固定部がある場合、（b）粘着固定部がない場合 40

（a）のように、粘着固定部２３がある場合、テープ４の巻き数が多い時（テープが新しい状態の時）、少なくなった時（テープが無くなりかけている時）でも、一端粘着固定部２３にテープ４が接着するため、角度が一定に保たれ安定してテープ４を切断することができる。一方（b）のように粘着固定部２３が無く、直接切断刃２１にテープ４が接する場合、巻き数が多い時と少ない時では角度が一定に保たれないため、テープ４を切断する際に安定しない。

【００１２】

図４は、本発明のプラスチック製テープカッター１の切断刃２１とテープ粘着固定部２３との位置関係を示す。（a）は切断刃がテープ粘着固定部より低い、（b）は切断刃とテ 50

テープ粘着固定部が同じ高さ、(c)は切断刃がテープ粘着固定部より高い場合を示す。

(c)のように、切断刃21がテープ粘着固定部23より高くすることにより、テープ粘着固定部23で接着したテープ4が切断刃21を通して下方に引っ張るために、テープ4が切断刃21に鋭角に接触するためより少ない力で上手く切断できる。

【0013】

図5は、幼児実験結果で、(a)は引き出すテープ4のテープ面に対して切断刃が平行、(b)切断刃は山型、(c)本発明の切断刃が引き出すテープ4のテープ面に対して傾斜している場合である。3歳から5歳の幼児30名で切れ味を検証した結果、上手くテープを切ることができた幼児の割合が、本発明の傾斜になっている切断刃の場合80%、通常の切断刃がテープに対して平行の場合が20%であった。以上の事から本発明の切断刃がテープに対して傾斜した場合が、最も上手くテープが切れることが検証できた。

10

【0014】

図6は、従来のテープカッターの構成図である。テープ巻取り収納部3から引き出したテープ4のテープ面と平行に、切断刃21とテープ粘着固定部23を設けている。

【産業上の利用可能性】

【0015】

幼児の手先の発達を促し、自立心を育てることに役立つ

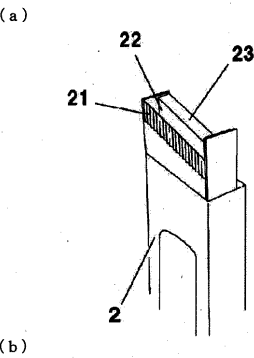
【符号の説明】

【0016】

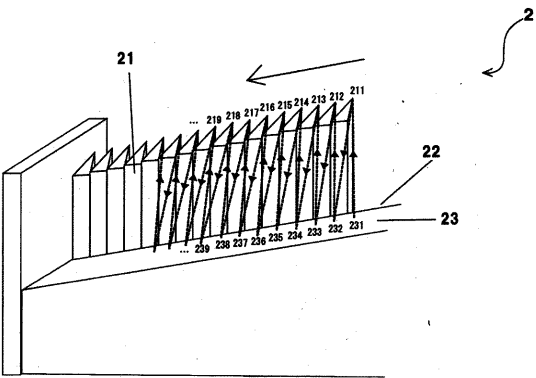
- 1 プラスチック製テープカッター
- 2 カッター部
 - 21 切断刃
 - 211～N 突起刃
 - 22 溝
 - 23 テープ粘着固定部
 - 231～M 支点
- 3 テープ巻取り収納部
- 4 テープ
- 5 台座ケース

20

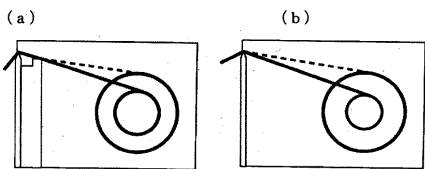
【図 1】



【図 2】



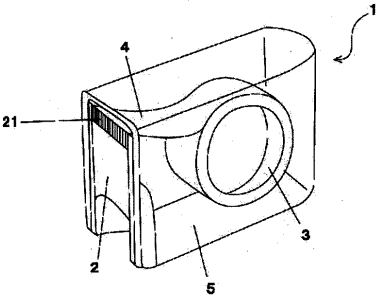
【図 3】



【図 4】

(a)		×
(b)		△
(c)		○

【図 6】



【図 5】

	刃の形状	切れ味
(a)		○ 切れるが、上手に 切ることができない
(b)		×
(c)		◎ 子供の切り方、 力で上手く切れる